

# 性感染症

症状がないタイプ  
の性感染症が増加。  
放置すると不妊の原因に

症状がないまま進行して  
感染が拡大していく

性感染症は性的な接触によって、皮膚や粘膜を通して感染する病気の総称で、10種類以上の病気があります。近年の性感染症の特徴といえは、かつて流行した性感染症に比べて、症状が出にくい点です。その代表ともいえるのがクラミジア感染症。女性がかかる性感染症の約60%を占め、最も頻度が高くなっています。男女ともに20代前半が発症のピークで、オーラルセックスにより、のどや口の中の粘膜に感染することもあります。吉野一枝医師はこう話します。「クラミジア感染症の多くは、症状がありません。このため、病気になることも放置したままセックスをして人にうつし、さらに感染が広がっていくのです。病気が進行すると、子宮の入り口から全体に炎症が広

がっていき、さらに卵管にまでおよぶと「卵管炎」になります。すると卵管に癒着などが起き、不妊の原因となるのです」

自覚症状が起きにくいとはいえ、おりものの増加や頻尿、排尿痛、性交後の性器出血などの症状がある人もいます。進行すると骨盤膜炎を併発し、下腹部痛が起きることもあります。

クラミジア感染症に次いで患者数が多い淋菌感染症も無症状の場合が多く、症状が出ても軽いため、放置されるケースが少なくありません。クラミジア感染症と同様にオーラルセックスでも感染し、進行すると不妊の原因になることがあります。「症状が出にくい性感染症を発見するには、目頃からおりものの状態をよく観察することが大切です。量や色、においなどいつもと異なる点があれば婦人科を受診しましょう。さ

## よくみられる性感染症の種類と治療

### 性器ヘルペス

ヘルペスウイルスの感染によって、外陰部や肛門周辺に水泡ができます。鼠径部のリンパ腺が腫れることも。一度感染すると脊髄神経節にウイルスが潜み、ストレスや風邪などで抵抗力が落ちたときに再発しやすくなります。

#### 治療

抗ウイルス薬でウイルスの増殖を抑えます。飲み薬や塗り薬があり、初感染でひどい場合は点滴治療をすることもあります。

### クラミジア感染症

クラミジア・トラコマティスという病原体が子宮の入り口に感染して炎症を起こします。男女ともに自覚症状が少ないのが特徴です。1〜3週間の潜伏期間の後、おりものが増えたり、血液が混じったりすることがあります。

#### 治療

抗菌剤を2週間服用する治療が主流ですが、最近では1回飲み切り型の抗生剤(ジスロマック)が登場しています。

### 尖圭コンジローマ

子宮頸がんと同じヒトパピローマウイルス(HPV)の感染によるもので、男性は性器に、女性は膣や外陰部、子宮の入り口にイボができます。痛みやかゆみはありませんが、再発しやすいので徹底的に治すことが大切です。

#### 治療

効果が高い塗り薬が登場し、ほとんどあとを残さずに治療可能に。尖圭コンジローマは、子宮頸がん予防ワクチンの一部で予防が可能。

### 淋菌感染症

淋菌という細菌が子宮の入り口などに感染し、炎症を起こします。男性は排尿痛などの症状があります。女性はおりものが増えたり、においが強くなったりすることもありますが、無症状の場合もあります。

#### 治療

抗菌剤の内服で2週間程度治療します。クラミジア感染症でも使われる1回飲み切り型の抗生剤(ジスロマック)も有効です。

### 予防のためのポイント

- コンドームを正しく使用する
- パートナーを特定する
- 清潔なセックスを心がける
- 月経中のセックスは避ける
- パートナーに症状が出たら自分も受診する

## 性行為以外で発症する膣炎・外陰炎

### 膣カンジダ症

カビの一種であるカンジダ・アルビカンスという菌が膣内に繁殖し、白いボロボロしたおりものが増えて膣の入り口や外陰部にかゆみが発生します。性行為でも感染しますが、体の抵抗力が落ちたときに発症するケースもよくあります。

### 外陰部は清潔に。でも、膣まわりは洗すぎないで

外陰部のかゆみなどの症状は、性感染症でも起きることがあります。しかしこれを不衛生によるものと判断し、膣まわりをせっけんで洗すぎてさらに症状が悪化するというケースが少なくないそうです。「膣には「自浄作用」といって細菌などの繁殖を防ぐ働きがあります。せっかくの自浄作用がなくなるので、膣まわりは石けんで洗わずにぬるま湯で流す程度にしましょう」(吉野医師)

### 膣トリコモナス症

トリコモナス原虫が膣内に入り込むことによって、泡状の強いにおいを放つおりものが発生します。さらにそのおりものによって、膣や外陰部に強いかゆみを感じます。ほとんどが性行為で感染しますが、風呂のイスなどでうつることもあります。



「性感染症の治療は、検査で陰性に陥カンジダ症は性行為以外の原因で感染することのほが多く、膣トリコモナス症も便座や風呂のイス、タオルを介してうつることがあります。性感染症の治療は、病気の種類によって異なります。それぞれの原因となる菌やウイルス、寄生虫の増殖を抑えたり、殺したりする治療が基本です。原因さえ特定できれば治療は難しくありませんが、治療を受ける際には注意しなければならぬ点もあります。

なったことが確認されなければ終了しません。たとえ症状がなくなっても菌やウイルスは残っている可能性があるため、陰性が確認できるまではセックスはせず、医師の指示通りに薬を服用しましょう」  
また、性感染症と診断されたら、パートナーと一緒に治療を受けるのが原則です。  
性感染症を予防するためには、コンドームを正しく使うほか、パートナーを特定して感染する機会を増やさないことが大切です。

### 疑われる症状

- おりものが増えた
- おりものの色やにおいがいつもと異なる
- 性器にかゆみがある
- 性器に痛みを感じる
- 性交痛がある、またはセックスのときに出血がある
- 性器にできものがある
- 鼠径部(太ももの付け根のリンパ腺)が腫れている
- くちびるや口の中、のどにできものがある

らに大事なことは、性経験があれば少なくとも1年に1回は婦人科で検診を受けること。性感染症は、性経験があれば誰でもかかる可能性があるという自覚を持つてください」  
クラミジア感染症も淋菌感染症も、子宮の入り口の粘膜を採取する抗原検査などによって、発見できます。検査の費用は1項目につき、4千〜5千円程度。全国の保健所では無料・匿名でクラミジア感染症と

そのほかの性感染症には、膣トリコモナス症、膣カンジダ症、HIV感染症などがあります。ただし、



よしの女性診療所院長  
吉野一枝医師  
CM制作会社などに勤務したのち、帝京大学医学部入学。1993年に同大を卒業し、東京大学病院産婦人科、愛育病院、長野赤十字病院などを経て、2003年に開院。

HIV感染症(エイズ)の血液検査を実施しています。  
陰性が確認されて初めて治療が終了する  
一方、症状が出やすい性感染症が性器ヘルペスや尖圭コンジローマです。性器ヘルペスは性器に水泡ができてきたり、鼠径部のリンパ腺が腫れたりして、歩けないほど痛むことも珍しくありません。一度感染すると、ストレスや風邪などで抵抗力が落ちたときに再発することがあります。  
尖圭コンジローマは、膣や外陰部、子宮の入り口に先のがった薄茶色や灰色のイボができます。痛みやかゆみはありません。これらは外見に症状が出るので、婦人科を受診すると内診で発見することができます。